

クリスマスについて

令和6年12月20日

もうすぐクリスマス，楽しみがいっぱいだね。

「クリスマス」って聞いたら，どんなことを思い出すかな。

サンタクロース，クリスマスツリー，トナカイ，プレゼント……

今日は，クリスマスのことについて，いろいろとお話をします。

1 クリスマスはどんな日

クリスマスはいつ，そう12月25日だね。12月25日はなにがあったのかな。それは，みんなが生まれるずっとずっと前に，神様の子どもとして生まれた人がいます。それがイエスキリストという人です。

その人はみんなの幸せを願い，たくさんの人をお助けになったと言われていています。その人の誕生をお祝いする日なのです。世界のみんながお祝いするお誕生会です。今では世界中の人の幸せをお祈りする日でもあります。

2 クリスマスにツリーやリースを飾るのはどうして

昔はかしの木をクリスマスツリーに使っていました。かしの木は一年を通して葉っぱが枯れません。葉っぱが枯れないので、わたしたちに力を与えてくれると言い伝えられています。今ではクリスマスツリーにモミの木がつかわれています。木です。

【トップスター】

一番上にある星は，キリストが生まれたことを遠くの人に知らせる。

【ベル】

これもキリストが生まれたことを，音で知らせる。

【ろうそく】

世界中をを照らす光

【オーナメントボール】

キラキラ光る丸い玉のことです。このオーナメントボール、よく赤いも

のを見ると思うのですが、実はりんごが由来なんです。

昔は、クリスマスツリーにりんごを飾っていたこともあるんですよ。りんごは、幸福や豊かさへの願いが込められているそうです。

3 サンタクロースさんだれかな

昔、お金がなくてとてもこまっている家族がいました。貧しさのために3人の娘を売らなければならない一家がいることを知り、夜中にその姉妹が住んでいる家を訪ね、煙突から金貨を3枚投げました。その人の名前がセントニコラウスと言う人でした。

金貨は暖炉の上の靴下に落ち、この金貨のおかげで一家はバラバラにならず、みんな一緒に暮らせるようになったというお話です。

これがサンタクロースが夜中に家に入り、靴下の中にプレゼントを入れるという風習の始まりとなったといわれています。

ニコラウスが3枚の金貨を投げ入れた話は、子供を守る聖人の伝説としてヨーロッパに伝わりました。

そして、この風習がヨーロッパからアメリカに伝わると「セント・ニコラウス」が「サンタクロース」に英語化され、サンタクロースの伝説として広く知られるようになったとされています。

4 メリークリスマスとは

メリークリスマスの意味を知っていますか。「メリー」というのは、「楽しい」「幸せ」という意味があるそうです。だから、「楽しいクリスマス」とか「幸せのクリスマス」という意味になりますね。